

第2章 吉賀町の地域特性

1. 吉賀町の位置と歴史

本町は島根県の西端に位置し、中国自動車道のインターチェンジを有した島根県の西の玄関口です。1,263mの安蔵寺山等、険しい山々に囲まれた自然豊かな中山間地域です。北は津和野町と一部分益田市に接し、西に山口県山口市、南に山口県周南市、東に山口県岩国市に接しています。本町は吉賀地方と呼ばれ、江戸時代には吉賀三領「上領」「中領」「下領」に属し、参勤交代にも使われた主要街道筋で宿場町でもありました。

旧柿木村は明治22年4月1日に村制を施行して以来、平成17年10月の合併まで、行政区域を変えることなく続いた村でした。また、旧六日市町は、市制・町村制が施行された当時七日市村、朝倉村、六日市村、蔵木村の四村でした。その後、六日市村は昭和22年11月3日に町制を施行し、昭和29年12月1日朝倉村・蔵木村と合併、昭和31年9月30日七日市村と合併しました。そして、平成17年10月1日、旧柿木村と旧六日市町が合併して、現在の吉賀町が誕生しました。

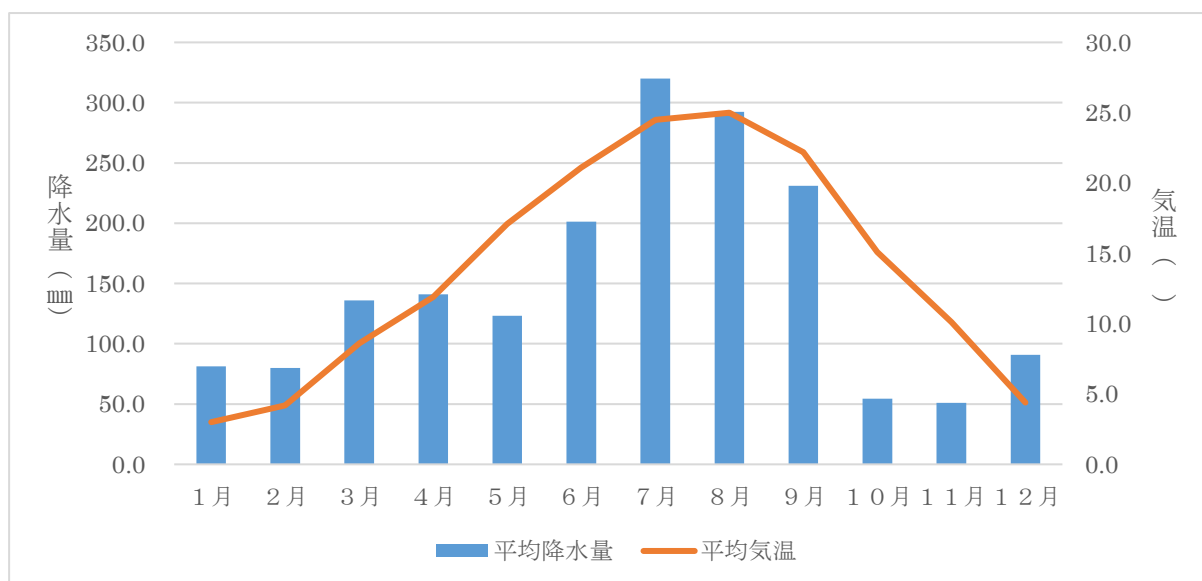
2. 吉賀町の主要指標

(1) 気候

本町の気候特性は、夏は比較的過ごし易く、冬は寒さが厳しい山陰の代表的な内陸性気候です。

◆図表 2-1 平均降水量・平均気温（令和元年～令和5年）

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
降水量(mm)	81.2	80.0	136.1	140.9	123.1	201.3	320.0	292.3	231.1	54.5	51.1	90.8
平均気温(°C)	3.0	4.2	8.6	11.9	17.1	21.1	24.5	25.7	22.2	15.1	10.1	4.4



(資料：気象庁「気象統計情報」)

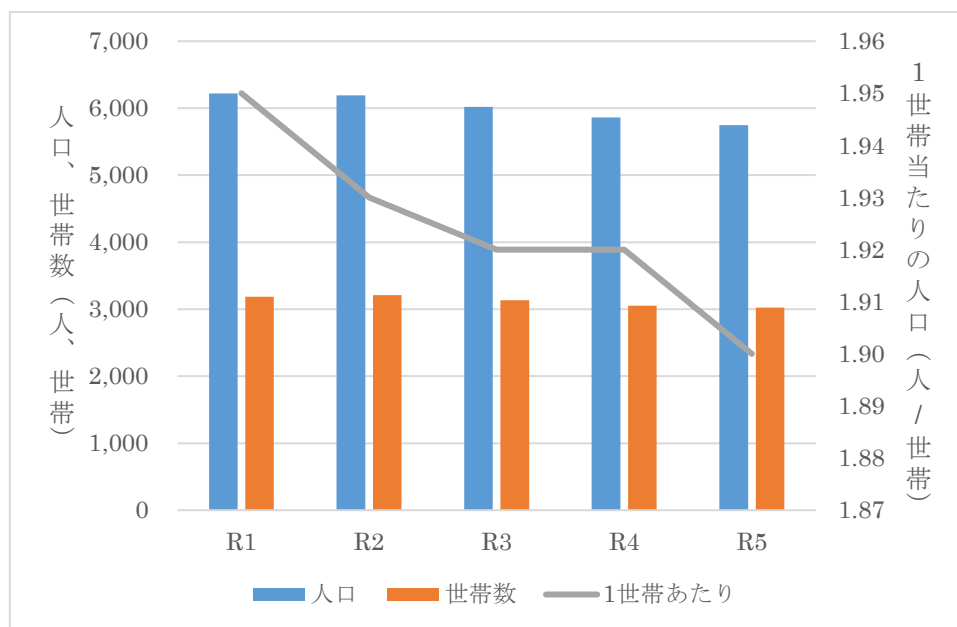
(2) 人口及び世帯

本町の人口及び世帯数を過去5ヵ年のデータで見ると、人口は減少傾向、世帯数は微増傾向にあり、1世帯当たりの人口は減少傾向です。

年齢階層別人口割合（令和5年）は、15～64歳の割合が45.0%と最も高く、島根県全体と比較して、65歳以上の割合が45.5%と高くなっています。

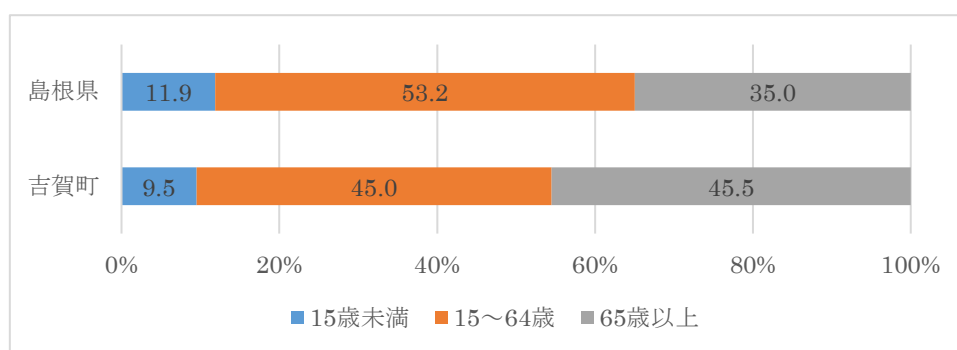
◆図表 2-2 人口及び世帯数の推移

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	R1. 3. 31	R2. 3. 31	R3. 3. 31	R4. 3. 31	R5. 3. 31
人口（人）	6,218	6,194	6,018	5,863	5,748
世帯数（世帯）	3,186	3,209	3,134	3,051	3,023
1世帯当たりの人口（人/世帯）	1.95	1.93	1.92	1.92	1.90



(資料：吉賀町税務住民課)

◆図表 2-3 年齢別人口構成割合（令和5年）

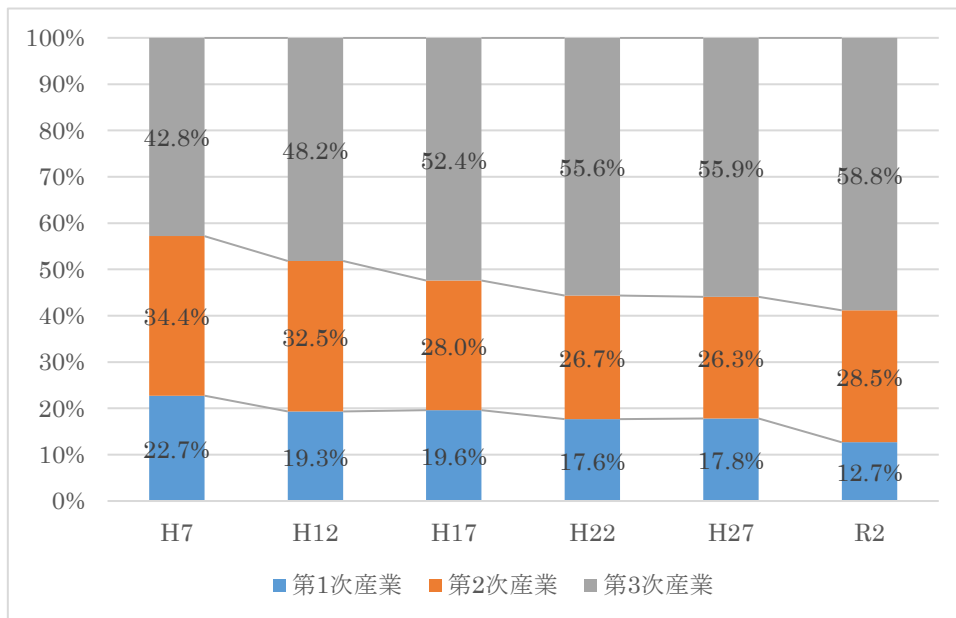
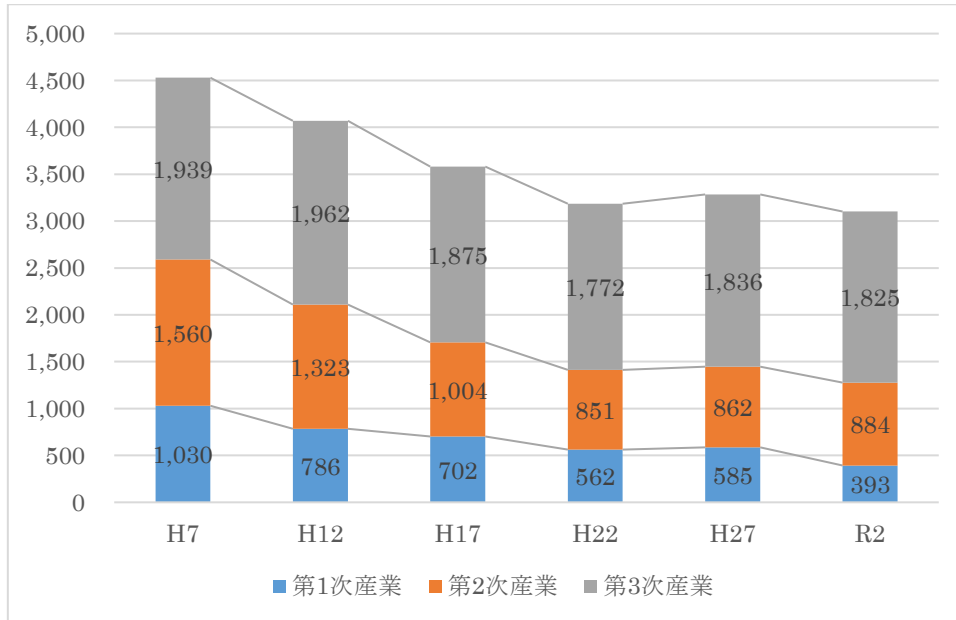


(資料：島根県統計調査課「島根の人口移動と推計人口」)

(3) 産業

本町の産業を就業者数別に割合で見ると、第1次産業は12.7%で、第2次産業が28.5%、第3次産業が58.8%です。さらに、その内訳は、第3次産業の福祉・医療が641人と最も多く、次いで、第2次産業の製造業が603人、第1次産業の農業が346人となっています。

◆図表 2-4 産業3部門別就業者人口とその割合の推移



(資料：総務省統計局「国勢調査」)

◆図表 2-5 産業別就業者数の内訳

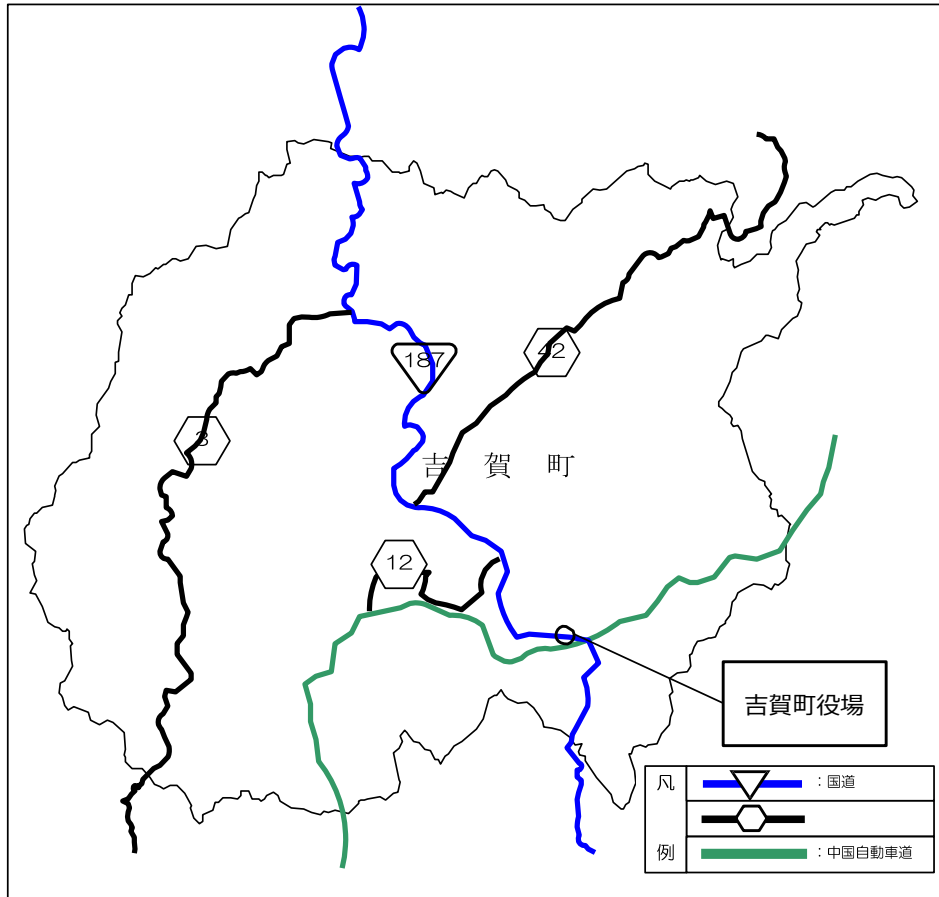
分類		平成 27 年	令和 2 年	増減
第一次産業	農業	531	346	▲185
	林業	53	45	▲8
	漁業	1	2	1
	小計	585	393	▲192
第二次産業	鉱業、採石業、砂利採取業	1	1	0
	建設業	327	280	▲47
	製造業	534	603	69
	小計	862	884	22
第三次産業	電気、ガス、熱供給、水道業	7	5	▲2
	情報通信業	4	3	▲1
	運輸業、郵便業	97	125	28
	卸売業、小売業	340	289	▲51
	金融業、保険業	24	18	▲6
	不動産業、物品賃貸業	5	7	2
	学術研究、専門・技術サービス業	21	24	3
	宿泊業、飲食サービス業	172	143	▲29
	生活関連サービス業、娯楽業	54	70	16
	教育、学習支援業	141	149	8
	医療、福祉	652	641	▲9
	複合サービス業	63	63	0
	サービス業（他に分類されないもの）	128	147	19
	公務（他に分類されるものを除く）	128	141	13
	小計	1836	1825	▲9
分類不能の産業		14	0	▲14
合計		3,297	3,102	▲195

(資料：総務省統計局「国勢調査」)

(4) 交通

本町の主要交通網は中国自動車道や主要国道を中心とした道路網です。町内の南側を高速道路である中国自動車道が東西に貫いており、六日市インターチェンジにより周辺へアクセスしています。また、町内を南北に国道 187 号線が縦断しており、北側は、旧柿木村を通り、津和野町、益田市方面にアクセスしています。南側は、山口県との県境に近く、岩国市錦町方面にアクセスしています。

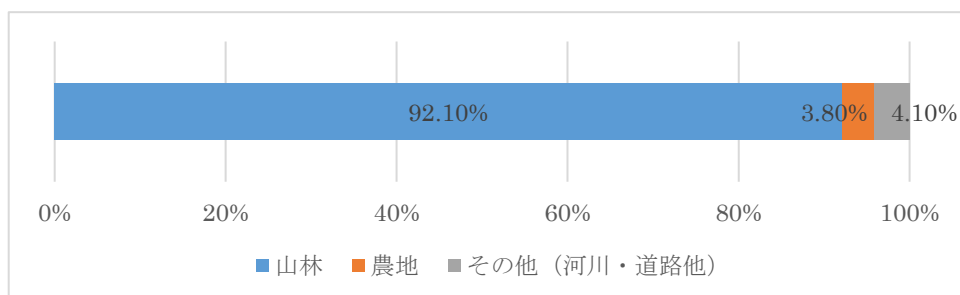
◆図表 2-6 主要交通網



(5) 土地利用状況

本町の土地利用について土地面積の割合をみると、92.1%が山林で最も多く、農地が3.8%、その他（河川・道路他）が4.1%となっています

◆図表 2-7 地目別土地面積

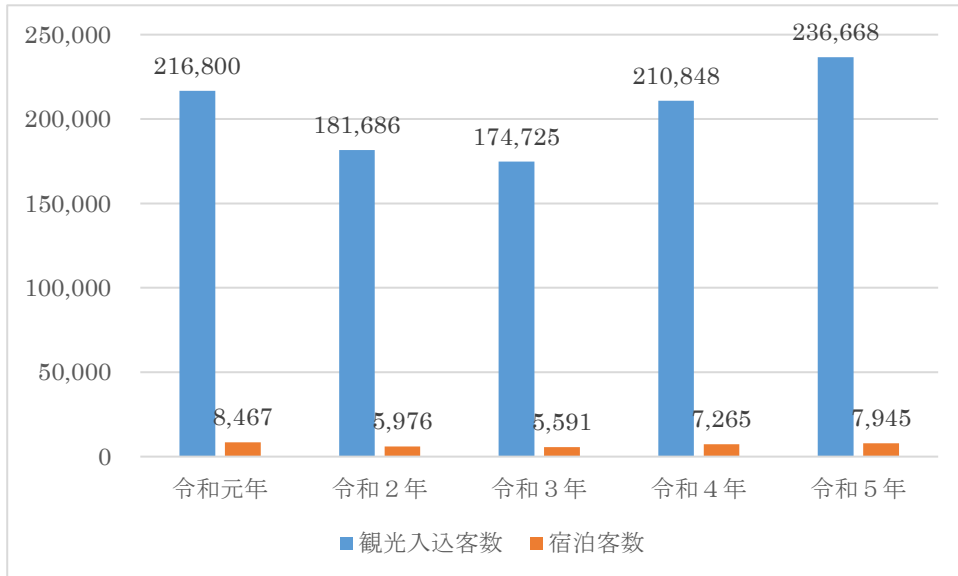


(6) 観光

本町は、豊かな自然環境に育まれた景観や古くから語り継がれる歴史と文化を有する町です。こうした環境や文化をより多くの観光客の方に来て、見て、触っていただくための施設があります。

観光客数は、新型コロナウイルス感染症による影響もあり、令和3年には174千人まで減少しましたが、令和5年度には236千人に達し、増加傾向にあります。

◆図表 2-8 観光入込客延べ数及び宿泊客延べ数



(7) 総合計画

本町では、「第1次吉賀町まちづくり計画」を見直し、これからの吉賀町の方角性を示す「第2次吉賀町まちづくり計画」を平成29年6月に策定しました。

ごみ処理に関しては、3R活動の推進やごみの分別方法の検討・啓発・周知に努め、ごみの排出量の削減に取り組むものとしています。

□計画名称：第2次吉賀町まちづくり計画

□策定年月：平成29年6月

□計画期間：平成29（2017）年度～令和8（2026）年度

□目標人口：5,576人（令和8年度）

□ごみ処理に係る主要施策

- ・日常生活における自主的かつ積極的な3R活動の取組を推進します
- ・ごみの分別方法の検討と啓発、周知に努めます
- ・3R活動を推進します